

# 元気農業

平成27年

60号

ふるさととちぎ21活性化塾だより



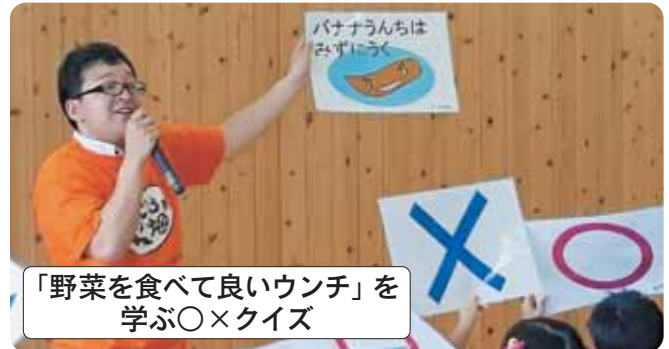
園児に食品の  
栄養素を伝えます



親子で野菜について  
学びます



大型食育カルタで  
楽しく学ぼう



「野菜を食べて良いウンチ」を  
学ぶ〇×クイズ



田植え体験



保育園での  
牛乳講座

## 各地でのとちぎっ子 食育出前講座

～ 栃木県農業振興公社の食育活動 ～

栃木県農業振興公社では、要望のあった県内の幼稚園・保育園・子育て支援センターなどに、とちぎ食育応援団を派遣し、野菜の話や苗の育ち方、調理体験など、多彩なテーマで食育講座を開催しています。

出前講座の派遣は、随時受付中。県内どこでも伺います。

## 目次

- 2 とちぎでいちごを始めようプロジェクト事業・とちぎでいちごを始めませんか！就農相談会開催 新規就農相談・新規参入者の動き、これからのとちぎの農業・夢託す
- 3 平成27年度とちぎ夢大地応援団カレッジ活動・第1回は佐野市秋山で佐野短大生が茶摘み
- 4 6次産業化総合化事業計画の認定について 平成27年度（第24回）ふるさととちぎ農業・農村児童画コンクールの募集 平成27年度美しいとちぎのむら写真コンテストの募集





- ・とちぎでいちごを始めようプロジェクト事業 とちぎでいちごを始めませんか！就農相談会開催
- ・新規就農相談・新規参入者の動き、これからのとちぎの農業に夢託す

## とちぎでいちごを始めようプロジェクト事業 とちぎでいちごを始めませんか！就農相談会開催

県外からいちご等の新たな栽培者を確保するため、都内での就農フェア等で就農希望者を募集し、実際の農家での栽培体験や農業法人でのお試し就業の機会を設け、円滑な就農に資するために県では「とちぎでいちごを始めようプロジェクト事業」を27年度新たにスタートさせました。

当公社では、就農相談やセミナー等の業務を県から受託し、本事業の推進に向けて取り組んでいます。

パンフレットやポスターを作成するとともに、県やJAと連携し、7月11日に東京フォーラムにおいて就農相談会を実施しました。

初めての試みで、就農相談者があるのか不安でしたが、とちぎのいちごは「日本一」であることからか来場者の関心も高く、28件の相談がありました。

今後は8月30と10月3日に就農相談会を東京で行うとともに、9月上旬から翌年2月ころまで、希望者を募っていちごの農家で栽培体験を計画しています。



ポスター



パンフレット



就農相談会風景

## 新規就農相談・新規参入者の動き、これからのとちぎの農業に夢託す

栃木県の新規就農者は、平成27年度では251名、このうち非農家からの新規参入者は40名で全体の16%を占めています。加えて、県や関係機関の支援体制の整備、支援活動が充実してきており、新規参入者は年々増加傾向にあります。一方、農業を新たに始めるには、就農相談や調査を経て、技術の習得、資金の確保、農地の



新・農業人フェア相談会の様子



アグリプラザ新規就農相談会の様子



新規参入者（いちご）のお宅訪問の様子



新規参入者（有機野菜）のお宅訪問の様子

取得など準備が必要となります。また、農業を始めるということは、人に雇用されるのではなく経営主になるということで、自分の経営に対して全て責任を負うことになるため、自らの努力と熱意が必要になります。このような状況を踏まえ、青年農業者等育成センター事業の一環として、本県農業の担い手確保を図るため、幅広い新規就農希望者を対象に各種新規就農相談会や現地セミナー等を実施しています。



## 平成27年度 とちぎ夢大地応援団カレッジ活動

### ～ 第1回は佐野市秋山で佐野短大生が茶摘み ～

平成27年度第1回とちぎ夢大地応援団カレッジ活動が5月16日、佐野市秋山地区の「あきやま学寮体験館」や地区内の茶畑で行われ、佐野短期大学の学生が茶摘みや手もみ茶選別・加工の農作業を体験しました。

カレッジ活動は、高校生や大学生、専門学校生に農作業体験を通して農業農村環境の維持・保全の重要性を学んでもらうのがねらいで、平成23年度から実施しています。今回活動に参加したのは、佐野短期大学の栄養フィールド（学科）とフードフィールドの1、2年生26名です。受け入れたのは、佐野市秋山のあきやま有機農村未来塾（藤川昭夫代表）のみなさんです。

学生たちは、4班に分かれて地元の人から茶の摘み方や手もみのやり方を教わったあと、実際に作業を行いました。作業後は「茶づくりの大変さがよくわかった。貴重な体験ができた」と全員が口を揃えていました。

第2回目の活動は、佐野短大生が10月3日に栃木市都賀町大柿で、田んぼの畦道にヒガンバナを植える予定です。



茶摘み体験



手もみ茶加工体験



参加した学生たち（あきやま学寮体験館前で）

## 6次産業化総合化事業計画の認定について

公益財団法人栃木県農業振興公社では、6次産業化に取り組む農業者等を支援するため、「栃木6次産業化サポートセンター」を設置しております。

このたび、平成27年5月29日付けで新たに2件の6次産業化総合化事業計画が認定され、その認定証交付式が6月10日にとちぎアグリプラザにおいて行われました。今回の認定により、栃木県での認定件数は合計36件となり、今後とも6次産業化が県内全域に広がっていくことが期待されております。

なお、今回新たに認定された方の概要については次のとおりです。



#### 小林一夫ぶどう園（栃木市）

自家生産のぶどう（巨峰、マスカットベリーA）を活用して、果汁100%のこだわりジュースを製造及び販売することによって、所得の向上と付加価値の高い農業経営を目指すという計画です。

【写真は6次産業化担当の小林美香氏】



#### （株）和氣ふぁーむ（塩谷町）

自社生産の水稲もち米を活用して、米の販売先から要望のあった杵つき餅を製造及び販売することにより、土地利用型経営の高付加価値化に取り組み、経営の多角化の確立を目指すという計画です。

【写真は代表取締役の和氣勝英氏】





- ・平成27年度(第24回)ふるさととちぎ農業・農村児童画コンクールの募集
- ・平成27年度美しいとちぎのむら写真コンテストの募集

## 平成27年度(第24回)ふるさととちぎ農業・農村児童画コンクールの募集

活力ある農業の姿や農村の情景に親しみ、これらを描くことによって農業・農村のすばらしさを知るとともに、優秀作品を展示して広く県民の方々に農業・農村の理解と関心を深めていただくために開催します。

1. 応募資格 県内の小学校で学ぶ児童
2. 募集テーマ 私が描く農業・農村  
作業の風景、農家の人々の暮らし、市場や農産物直売所情景、体験農業の様子など
3. 作品の規格 B3の画用紙(1~4年生はB4でも可)
4. 応募方法 小学校でとりまとめ、9月10日までに市町の農政担当課に送付して下さい。
5. 表彰 低学年(1~2年生)、中学年(3~4年生)、高学年(5~6年生)の区分毎に、最優秀賞(栃木県知事賞)各1点、優秀賞(栃木県教育長賞・栃木県農政部長賞)各2点、優良賞(ふるさととちぎ21活性化塾長賞)各12点
6. 入賞作品の展示 10月24~25日に開催される「とちぎ“食と農”ふれあいフェア2015会場(栃木県庁15Fロビー)」で展示するほか、平成28年2月16~26日まで栃木県庁15Fロビーで再展示します。  
また、最優秀賞・優秀賞作品は、とちぎアグリプラザ3階ロビーで平成28年10月まで常設展示します。

参考  
26年度最優秀賞作品



小山市立間々田東小2年 川口 豪太さん  
「間々田のいちごは世界一」



那須塩原市立金沢小4年 大森 空さん  
「楽しくしゅうかく」



宇都宮市立新田小5年 増淵 菜陽さん  
「自治会のじゃがいもほり」

## 平成27年度 美しいとちぎのむら写真コンテストの募集

農村地域における農業生産活動の姿や美しい農村の四季折々の風景などを、将来を担う中・高生に撮影いただき、広く農業・農村への理解と関心を深める契機とします。

1. 応募資格 県内の中学校・高校に在学する生徒
2. 募集テーマ 躍動する農業・農村の姿を撮ってみよう  
部門1 農業に生き生きと携わる人々の姿  
部門2 農地、水、農村環境を守る活動
3. 応募規格 四つ切り又はA4版カラーもしくは白黒プリント(デジタル合成処理は不可)
4. 応募上の注意 作品は県内でフィルムカメラ、デジタルカメラで撮影した未発表の写真  
応募点数は1人あたり5点以内
5. 応募方法 応募写真の裏に応募票を貼付し、11月30日までに農業振興公社に送付下さい。
6. 表彰 最優秀賞:各部門1点(栃木県知事賞)  
優秀賞:各部門2点(栃木県農政部長賞)  
入選:各部門10点以内
7. 入賞作品の展示 入賞作品は公社ホームページで紹介します。また、平成28年2月中旬~下旬に栃木県庁15階展望ロビーで展示をします。

### 平成26年度最優秀作品



真岡北陵高校2年生 中谷 将輝さん



小山北桜高校3年生 土屋 俊貴さん

とちぎ発 元気農業 ふるさととちぎ21活性化塾だより60号

発行日 平成27年8月31日  
編集・発行 ふるさととちぎ21活性化塾  
所在地 〒320-0047 宇都宮市一の沢2-2-13  
(公財)栃木県農業振興公社内  
TEL 028(648)9511(代) FAX 028(648)9517  
URL : http://www.tochigi-agri.or.jp  
Eメール : info@tochigi-agri.or.jp

